

小島小学校 道徳指導案

日 時 令和2年11月12日第5校時
場 所 1年生教室
授業者

1 主題構成表

主題名 たすけずにはいられないころ

教材名 わきだした みず

■内容項目 D (17) 生命の尊さ

生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすること。

■内容項目から見た児童の実態（意識）

- ・その命が危ないと分かった時に、助けずにはいられないという心が自分にもあることをまだ自覚できていない。
- ・自分の命は一つしかないことや、失われたら二度と戻らないことは理解しているが、命は自分だけのものではないことや、相手も同様にかけがえのない命をもった存在であることまでには理解が及んでいない。

■要因

- ・現段階で、児童は「危機的な状況におかれた命」に出会う経験をしたことがほとんどないため。

■価値の分析

- ・人の命を助けようと努力をする姿は、命が危ないと分かると、「助けずにはいられない」という心から生まれる。
- ・自分の命同様に、相手の命も大切にしようとする生命尊重の精神は人間関係の基礎となるものである。
- ・この時期の児童においては、当たり前の生活が送れたり、自分が成長したりできるのは命があるからだと気づくことで、生命の大切さを自覚し、他者の命も尊重したいと願う心も高められる。日々の見過ごしがちな行為の中から生きていることのすばらしさを感じ取ることができるようにしていくことが必要である。

■教材の分析

- ・池の水が干上がってしまい、魚たちが苦しんでいる様子を見たカニは、隣の村の泉まで穴を掘り進めることを決める。途中、大きな石にぶつかる。そのときに、魚たちが苦しんでいる様子を思い出し、一層力を入れて昼夜を問わず穴を掘り続ける。カニはどうとう泉まで掘り通し、水が池まで流れ出すという話である。
- ・必死に穴を掘り進めるカニの姿から、何としても魚たちの命を救いたいという強い心が見える。水が流れ出て喜ぶカニの姿から、他者の命も自分同様に大切にすばらしさを感じ取ることができるようにしたい。

■ねらい

他者の命を必死で助けようと努力する生き方によさに気づき、自分も自他の命を大切にしようとする心情を育てる。

■他の教育活動との関連

〈日常生活〉

お互いの命が大切であることに気づき、信頼・友情に広げ、ひびきあい週間の取り組みにつなげ、高まる姿を帰りの会などで紹介し、価値を広める。

■事前

・生活科「いきものとなかよし」の実践で、命あるものを大切に育てようという意識が養われてきた。

■本時

わきだした みず

■事後

・コロナ予防への取り組みや命を守る訓練などで、自分の命も友だちの命も同じように大切にしようとする。

2 本時の展開例

	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助 *人権教育観点
導入	<p>1 価値への導入を行う。</p> <p>○命はどうして大切にしなければいけないのですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なくしたら二度と戻ってこないから。 ・命をなくしたら、悲しむ人がいるから。 ・死んでしまったら、何もできないから。 	<p>☆黒板に資料を提示し、前半後半に分けて話をするので、カニの気持ちに迫れるようにする。</p>
展開前段	<p>2 資料の前半を聞き、話し合う。</p> <p>○ お話を聞いて、カニすごいな、すてきだなと思うところはどこですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚たちを助けようがんばったところ。 ・休まず続けて穴を掘ったところ。 ・大きな石があってもあきらめずにがんばったところ。 <p>○ 疲れていても休まず穴を掘り続けているかには心の中で何と言っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大変だな。・疲れてきたな。 ・休んでいたらみんな死んでしまう。 ・疲れたけど、魚たちが死んだら悲しいから頑張ろう。 ・死んでほしくない。・死んでしまったら、自分もみんなも悲しい。 ・頑張ってみみんなを助けてあげたい。 <p>3 資料の後半を聞き、話し合う。</p> <p>◎ 水が流れてきて、助かった魚たちの様子を見て、カニや魚たちは心の中で何と言っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頑張ってよかったな。 ・かにさん、ありがとう。 ・助かってよかったな。 ・生きててよかった。 ・喜んでくれてうれしいな。 ・命を助けてくれて、ありがとう。 <div style="border: 3px double black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>人の命も自分の命と同じでとても大切なもの</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・カニの姿ですごいな、素敵だなと思ったことを交流し、カニが他者の命を大切に思い、助けようと努力する場面に話し合いを焦点化していく。 <p>☆疲れていても何日も穴を掘り進めるカニの様子を動作化することで、穴を掘り進める大変な思いや何とかして助けたいという強い思いに気づくことができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの吹き出しに、気持ちを書かせることで、両者の思いを整理させる。 ・両者の思いを出させることにより、自他の命について、多面的・多角的に考えることができるようにする。 ・「かに」と「さかなたち」に分けて役割演技させることにより、互いの対話による価値理解を深める。 *自分にも相手の命が危ないと分かるどじっとしてられないという心があることを自覚し、自他の命を大切にしたいという願いをもつ。(自己啓発力)
展開後段	<p>4 今までの自分の生活を振り返り、交流する。</p> <p>○ カニさんみたいな人とは、どんな人でしょう。周りにいないかな。これから、どうしていきたいかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポーターさん ・先生たち ・危ないことをしない。 ・命を守る訓練をしっかりとやる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな気持ちでやってくれたと思うかを考えさせる。 ・いつも守られているけど、自分でも進んで命を守る行動をしようと思わせる。 ・サポーターの○○さんの手紙を紹介し、感謝とさらに命を大切にしなければならぬ思いをもたせる。
終末	<p>○教師の説話をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・命を守る訓練で、一人でもいないときは、先生たちみんな探すよ。